コーパスを利用した・・・研究

概要

（概要執筆時に以下の注意事項は削除してください。）

　概要本体（題目・文献リストを除く）は800～1,200字でお書きください。

　必要に応じて参考文献を明示してください。ただし，文献リストの部分は前述の文字数の集計対象外とします。

　ツール・コーパス開発などの発表を除き，リサーチクエスチョンならびに研究から得られた知見を明快に記述してください。

　発表概要は応募者が容易に特定されることのないようご留意の上作成してください。同様に，応募者推定につながる文献は挙げないでください。

　脚注は使わないで下さい。

　発表は英語でも構いません。その場合は，概要は400～600語でお書きください。題目も英語でお書きください。それ以外は上記と同じです。

　発表が採択された場合には，大会資料に掲載する要旨（文献リストは掲載しません）と，大会後に発行されるニューズレターに掲載する報告（大会資料の要旨を実際の発表に基づいて適宜修正したもの）を執筆していただきます。

　発表概要から容易に応募者が特定されると考えられる場合には，応募書類を加工して審査に付する可能性があることを予めご了承ください。

　大会資料・ニューズレターの報告では下記（暫定）のように書式を統一して掲載します。発表申し込み時の概要においては下記書式に従う必要はありませんが，概要の段階からこのようにお書きいただきますと，後の作業負担が軽減できます。

・和文の句読点には「，」（全角カンマ）と「。」（マルの句点）を用いる。

・和文中で補足説明等に用いる丸括弧のみ全角とし，列挙に用いる「(1)」やその他の数字・英字は半角とし，前後に半角スペースは入れない。

例：例えばfor exampleなどの項目・・・

例：・・・については，(1)・・・，(2)・・・という2項目の・・・

・和文中で引用をする場合の括弧・カンマ・スペースなどは半角を用いる。

例：･･･と指摘されている(佐藤, 2010)。

Takahashi (2000)は・・・

Yamada and Ito (2011, pp. 10–15)によると･･･

・和文中で和文の文献を引用する場合は著者名と開き括弧の間にスペースを入れない。著者が2名以上の和文の文献を引用する場合は，著者の姓を中黒で区切る。

例：田中(2014)が指摘するように，・・・

佐藤・山田(2016)は・・・

・Wordの箇条書き・段落番号の機能は使用しない。

・英文の文間のスペースは2つではなく1つとする。

文献

（概要執筆時にこの注意事項は削除してください。文献を挙げない場合には見出しも含めて削除してください。文献リストの見出し名・書式は自由です。）